

ご挨拶

この度、第4回日本HHT研究会(HHT JAPAN 2017)を大阪・中之島で開催させて頂く運びとなり大変光栄に存じます。本研究会は、2013年に代表世話人の小宮山雅樹先生(大阪市立総合医療センター)を中心に、本邦における遺伝性出血性末梢血管拡張症(HHT/オスラー病)の診断・治療の向上と患者支援を目的に設立されました。学術集会は、第1-2回(小宮山会長)が大阪市立総合医療センターで、第3回(塩谷隆信会長)がJR東京総合病院で開催され、今年は再び大阪です。会場の大阪大学中之島センターは旧医学部跡地にあり、私が学生時代を過ごした思い出の地です。

従来、本邦では医療者の間でもオスラー病の認知度は低く、全身性・遺伝性疾患として多臓器や血縁者にまであまり目を向けられませんでした。幸い、本研究会や患者会の発足を契機に、医療者や患者・家族の疾患に対する理解も徐々に広がりつつあります。また、国の難病対策も推進され、関係者のご尽力でオスラー病が指定難病として公的医療費助成の対象になるなど患者救済の道は開けつつあります。しかし、まだ専門施設と呼べる施設は少ない状況で、患者さんやご家族の抱えるニーズに十分応える体制が整っているとはいえません。

本研究会は年1回学術集会を行っており、過去3回は医師による基調講演・一般演題が中心でした。第4回となる今回は、患者さんの視点にも立ちながら、各診療科における診療や遺伝子診療の現況に関して職種を越えた討論を盛り込みたいと思います。特別講演では、高倉伸幸先生(大阪大学微生物病研究所)をお招きして、血管形成の分子学的制御と血管奇形の関わりについてお話頂きます。また、当日は患者会も併催されますが、午前中のセッションは患者さんもお聴講頂けます。本研究会を通してオスラー病のアップデートや診療上の問題点を色々な立場の方々と共有し、オスラー病診療・研究の今後の発展につながれば幸いです。多くの皆様の研究会へのご参加を心よりお待ちしております。

第4回日本HHT研究会

会長 大須賀 慶悟 (大阪大学 放射線診断・IVR科)

事務局 西田 武生 (同 脳神経外科)

会場案内図



<大阪大学中之島センター10階見取り図>

受付は10階エレベーターホールにございます。大阪大学中之島センターの入口に入って右手にあるエレベーターにて10階にお越しください。

ご案内

1. 会名

HHT JAPAN 2017(第4回日本HHT研究会)

2. 会期

2017年6月18日(日曜日)

3. 会場

大阪大学中之島センター 10階 佐治敬三メモリアルホール

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-53 Tel 06-6444-2100

4. 参加受付

(ア) 受付時間

総合受付(10階エレベーター前)にて、下記時間に行います。

8:30~16:00

(イ) 参加費(プログラム代含む)

3000円

(ウ) 昼食

お弁当(お茶付き)が必要な方は、一つ1000円をご用意しております。午前中に、受付にてチケットをご購入ください。午前のシンポジウム終了後に、会場後方でチケットと引き換えにお弁当を受け取っていただきます。

(エ) プログラム

プログラムは一部1000円で追加購入していただけます。

(オ) クローク

会場受付の左奥に用意しております。

8:30~17:00

(カ) 学会クレジット

本研究会は、以下の学会の認定更新クレジットの取得が可能です。

●日本 IVR 学会専門医 5 単位

●日本 IVR 学会・日本心血管インターベンション学会合同認定インターベンションエキスパートナース 10 単位

5. お願い

会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにして頂きますようお願い致します。会場内での撮影、録音はご遠慮ください。

6. 連絡先

事務局

大阪大学大学院医学系研究科

放射線診断・IVR 科 大須賀 慶悟

脳神経外科 西田 武生

〒565 - 0871

大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL： 06-6879-3434 、 FAX： 06-6879-3439

E-mail： hhtjapan2017@nsurg.med.osaka-u.ac.jp

発表形式のご案内

1. 基調講演は発表時間 12 分+討論 3 分、一般口演は発表時間 7 分+討論 2 分です。また、シンポジウムは発表時間 12 分で、総合討論 15 分です。時間厳守をお願いします。
2. 発表は、持参いただいたノートパソコン(Mac でも Windows でも可)を会場のプロジェクターに接続して、壇上にてご自身で操作していただきます。接続コネクタは D-sub15 ピンのみですので、接続に必要なコネクタは必ずご持参ください。
3. PC 受付はございません。発表の 5 分前までに会場左前方の「次演者席」にお越しいただき、ご自身のノートパソコンを接続して待機してください。なお、試写が必要な場合は、会場受付の右奥にスペースを設けておりますのでご利用ください。
4. 午前中のセッション 1、2、シンポジウムは、オスラー病患者会メンバーも本会場で直接ないし別フロアの副会場で中継を聴講できるようにしております。

座長の先生へのご案内

1. 各セッションの進行は座長の先生にお任せ致します。時間厳守でセッションを進行していただきますようご協力をお願いします。
2. 担当セッションの 15 分前までに会場右前方の「次座長席」にお越しください。

プログラム

開会の辞(9:15~9:30)

HHT JAPAN 2017 会長 大須賀 慶悟(大阪大学 放射線診断・IVR 科)

セッション1 「オスラー病の全体像」(9:30~10:10)

座長

吉村 邦彦(三井記念病院 呼吸器内科)

下平 政史(名古屋市立大学 放射線科)

KL-1 オスラー病の概説と問題点

西田 武生(大阪大学 脳神経外科)

KL-2 海外研究の最新トピックス

公受 伸之(島根大学 総合医療学講座)

KL-3 HHT international scientific conference 2017 の報告

小宮山 雅樹(大阪市立総合医療センター 脳血管内治療科)

セッション2 「鼻出血」(10:10~10:52)

座長

三輪 高喜(金沢医科大学 耳鼻咽喉科)

寺田 哲也(大阪医科大学 耳鼻咽喉科)

KL-4 鼻出血に対する治療選択肢や救急対応の現状

市村 恵一(石橋総合病院)

O-1 オスラー病に伴う鼻出血に対するコブレーションシステムの使用経験

端山 昌樹(大阪大学 耳鼻咽喉科)

O-2 鼻出血に対する入院加療を要したオスラー病3例の検討

乾 崇樹(大阪医科大学 耳鼻咽喉科)

O-3 鼻出血による高度貧血を呈した家族歴のない遺伝性出血性毛細血管拡張症の一例

吉村 邦彦(三井記念病院 呼吸器内科)

シンポジウム「各施設での診療の現状(異なる診療科の立場と患者の立場から)」
(10:55~12:10)

座長

公受 伸之(島根大学 総合医療学講座)

石黒友也(大阪市立総合医療センター 脳血管内治療科)

S-1 当院での診療の実情(脳血管内治療科主導のHHT診療)

小宮山 雅樹(大阪市立総合医療センター 脳血管内治療科)

S-2 千葉大学病院におけるオスラー病診療体制について

杉浦 寿彦(千葉大学 呼吸器内科)

S-3 耳鼻咽喉科の立場から

福田 有里子(神戸大学 耳鼻咽喉科)

S-4 阪大病院におけるオスラー病診療の現況

大須賀 慶悟(大阪大学 放射線診断・IVR科)

S-5 患者会の現況

村上 匡寛(日本オスラー病患者会)

特別講演 (12:20~13:10)

座長

森崎 裕子(榊原記念病院 臨床遺伝科)

「Tie2-APJ系による血管形成の制御と血管奇形におけるインパクト」

高倉 伸幸(大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野)

セッション3 「遺伝子検査と遺伝カウンセリング」(13:15~14:00)

座長

小宮山 雅樹(大阪市立総合医療センター 脳血管内治療科)

大須賀 慶悟(大阪大学 放射線科)

KL-5 HHT 遺伝子検査の意義と国内の実情

森崎 裕子(榊原記念病院 臨床遺伝科)

KL-6 遺伝性出血性毛細血管拡張症における遺伝カウンセリング

浦野 真理(東京女子医科大学附属 遺伝子医療センター)

KL-7 HHT と妊娠

山本 慶子(千葉大学 呼吸器内科)

セッション4 「脳、脊髄、神経症状」(14:02~14:53)

座長

里見 淳一郎(徳島大学 脳神経外科)

秋山 武紀(慶應義塾大学 脳神経外科)

KL-8 オスラー病に関連した脳脊髄病変・神経症状

寺田 愛子(大阪市立総合医療センター 脳神経外科)

O-4 HHT 患者の頭蓋内スクリーニングにおける ultra-short TE MRI(silent MRA)の有用性

荒井 信彦(慶應義塾大学 脳神経外科)

O-5 肺動静脈奇形患者における奇異性脳塞栓の検討 ー多施設共同解析ー

丸野 美由希(大分大学 放射線科)

O-6 HHT 診療開始後1年の報告と、出血発症した多発脳血管奇形の1例

太田 貴裕(東京都立多摩総合医療センター 脳神経外科)

O-7 モグラ叩きの様な AVM 塞栓治療 (Cerebro-spinal-pulmonary AVM : HHT type1)

飯塚 有応(千葉西総合病院 脳脊髄血管内治療センター 神経放射線科)

セッション5 「肺 AVM」 (14 : 55~15 : 46)

座長

清末 一路(大分大学 放射線科)

杉浦 寿彦(千葉大学 呼吸器内科)

KL-9 肺 AVM 塞栓術の役割と問題点

下平 政史(名古屋市立大学 放射線科)

O-8 診断 2 年後に脾梗塞・脾膿瘍を合併した肺動静脈瘻の一例

内藤 潤(千葉大学 呼吸器内科)

O-9 妊娠初期の奇異性塞栓症から診断された肺動静脈瘻の一例

田島 寛之(千葉大学 呼吸器内科)

O-10 塞栓術後長期経過した後に喀血を来した肺動静脈奇形の 1 例

下平 政史(名古屋市立大学 放射線科)

O-11 肺血流シンチでの右左シャント率の正常値は？

杉浦 寿彦(千葉大学 呼吸器内科)

セッション6 「心不全・肺高血圧」 (15 : 48~16 : 21)

座長

森崎 裕子(榊原記念病院 臨床遺伝科)

木岡 秀隆(大阪大学 循環器内科)

KL-10 HHT に伴う循環器合併症(肺高血圧症・心不全)について

木岡 秀隆(大阪大学 循環器内科)

O-12 遺伝性出血性末梢血管拡張症(HHT)に合併した肺高血圧症の一例
中本 敬(大阪大学 循環器内科)

O-13 PHが自然寛解した小児期発症重症 HHT2-PAH の一例
岩朝 徹(国立循環器病研究センター 小児循環器科)

セッション7 「消化管、小児、難病指定」(16:23~16:47)

座長

西田 武生(大阪大学 脳神経外科)

O-14 胃毛細血管拡張症を契機に診断し、血管奇形に加え多発内臓動脈瘤を
認めた遺伝性出血性毛細血管拡張症 (HHT) の1例
木下 真樹子(国立病院機構南和歌山医療センター 消化器科)

KL-11 オスラー病と指定難病 ～認定経過と今後の課題～
塩谷 隆信(秋田大学 保健学科)

閉会の辞

HHT JAPAN 2017 会長 大須賀 慶悟(大阪大学 放射線診断・IVR 科)

次期会長の挨拶

HHT JAPAN 2018 会長 下平 政史(名古屋市立大学 放射線科)